

## 大和川シリーズ 21 狭山池&西除川

日 時 : 2016 年 6 月 16 日 (木)

集 合 : 10 時 南海高野線・大阪狭山市駅 (狭山駅の次の駅です)

持ち物 : 弁当、飲物、観察用具、雨具

雨天判断 : 雨天決行

行 程 : 南海高野線・大阪狭山市駅 ⇒ 東除川 ⇒ 大阪府立狭山池博物館見学 ⇒ 狭山池 ⇒ 龍神社 ⇒ 西除川流出部 ⇒ 三津屋川流入部 ⇒ 西除川流入部 ⇒ 狭山神社・狭山堤神社 ⇒ 南海高野線・金剛駅 解散

約 7 km の行程

○狭山池に流入する河川：西除川（天野川）、三津屋川

○狭山池から流出する川：西除川、東除川、どちらも大和川に流入する

○狭山池は日本最古のダム式ため池とされている。

飛鳥時代前期、朝廷によって西除川（天野川）と三津屋川（今熊川）の合流点付近を堰き止め築造されたとされるが、正確な築造年は明らかでは無い

○東樋に使用された木材の伐採が 616 年（推古天皇 24 年）と判定された年輪年代測定結果がある。今年築造 1400 年記念のイベントが行われている

○1704 年（宝永元年）の大和川の付け替えまで、現在の大阪市域に至る 80 か村、約 55,000 石を灌漑していた

○堤体の盛り土が幾層にも積まれ、その 1 部に植物層を含む層があることが判明し中国や朝鮮から伝わった敷葉工法（しきはこうほう／葉のついた枝を土留めに使う工法）が用いられていることがわかった

○堆積物中にはプラント・オパールと呼ばれる植物の遺骸が残されており、周辺の植生の変遷を知ることが可能になる。狭山池の池底のプラント・オパールの分析からは水田を伴わない自然栽培的な稲作が行われていた可能性が指摘されている

○7 世紀以降と 16 世紀以降と推定されるそれぞれ数百年間の地層から珪藻の化石が確認された。海性珪藻が最大で全体の 5 割近く占めていたことや、8 世紀ごろと 17 世紀前後の大規模な地震による噴砂や地滑りの痕跡が確認され、また、古文書などから、津波を伴う東南海・南海地震として、グレゴリオ暦 684 年 11 月 29 日の白鳳地震と 1605 年 2 月の慶長地震があったことがわかっており、狭山池で見つかった地震痕跡の時期と近いことから、珪藻は両地震の津波で大阪湾から運ばれた可能性が指摘されている

○狭山神社：天照皇大神、素盞鳴命を主祭神とし、天兒屋根命、大山祇神・稲田姫命を合せ祀る。崇神天皇の勅願により、狭山池の築造以前に創建されたという伝承がある。現在の社殿は室町時代中期の明応 2 年の再建と推定されている

## 大和川シリーズ 21 狭山池&西除川

日 時 : 2016年6月16日(木)

集 合 : 10時 南海高野線・大阪狭山市駅

行 程 : 南海高野線・大阪狭山市駅 ⇒ 東除川 ⇒ 大阪府立狭山池博物館見学 ⇒ 狭山池 ⇒ 龍神社 ⇒ 西除川流出部 ⇒ 三津屋川流入部 ⇒ 西除川流入部 ⇒ 狭山神社・狭山堤神社 ⇒ 南海高野線・金剛駅 解散 約7kmの行程

あいにくの雨でしたが、狭山市駅に10時、20人集合し出発。東除川と、高野街道を経て狭山池に到着。狭山池は西除川と三津屋川をせき止めて人工的に作った日本最古のダム式ため池といわれている。10時半には、安藤忠雄が設計した狭山池博物館に到着した。



年配のボランティアガイドさんによる説明で、約1時間半館内を見学。

最初に1400年前の高さ15.4m、幅62mの巨大な堤とご対面!どのようにして池から引き揚げ、復元したのか(特許申請中?)技法の説明をうけた。ただ残念なことに、白鳳の南海地震と慶長(伏見)地震—M8.0、東海、東南海、南海連動の津波型地震の痕跡について詳しく知りたかったのにほとんど説明がなかった。さらに最近までの狭山池周辺の変遷、狭山遊園、狭山池で4年間競艇が行われていたなどのわれわれ世代にとって、少し記憶にあるような話へと続いた。その後いよいよ堤のつくられた616年(推古天皇時代)へ。年代は使用したマキの年輪から測定されたそうで、正確だとのことお墨付きである。木で作られた水路なども興味深い。天平宝宇(762年)と慶長に大改修が行われている。推測するに両時代ともその前に大きな地震があり、被害がでたためと思われる。狭山池は朝廷の大事業としてはじまり、敷葉工法などの国際的土木技術がみられ、行基によって大規模な改修がおこなわれたが、行基の大仏殿建立に際しての役割を考慮すれば、この改修も国家的事業であるといえる。その後中世に入って、重源が古墳時代の石棺を水の流水路に使用するなどのあっとおどろく土木工事で改修を行っている。また江戸時代の初めには片桐且元が改修をおこなっている。このころまでは狭山池の役割は、水の供給ということにつきる。最後のブースで、狭山池の灌漑範囲をパノラマ展示で見学。17世紀、大和川の付け替え前までは平野まで池の水が到達していたことに驚きと感嘆。昔の人にとっての水のありがたさはわれわれの想像をはるかに超えていると実感した。ただ現在の狭山池の役割は水の供給という比重は小さくなり、ダム池としての治水に重点が移動してきている。さらに市民の憩いの場所としての役割も期待されている。



雨の中、外壁のテラスのようなところで持参したお弁当をたべ、12時45分に出発。池の周りを、晴れ女の願い届かず、強雨をものともせず?龍神社、池の流出路、さらに西除川にそって歩き、1時50分狭山神社到着。金剛駅で2時過ぎに解散。

